



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第894号 (一部抜粋)



令和3年10月20日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 令和3年度公開調査研究発表会について ◆



FAMICでは、肥料、農薬、飼料、有害物質などの安全性や食品表示の真正性の確認をはじめとした各種検査・分析業務を効率的に行っていくため、新しい検査・分析技術の導入、検査・分析法の開発・改良、その実用化に関する調査研究などに取り組んでおり、これらの研究成果について広く公表する場として公開調査研究発表会を毎年開催しています。

今年度の公開調査研究発表会は、オンラインで開催いたしますので、参加ご希望の方は、11月5日(金)までに当センターホームページの参加登録フォームからお申し込みください。なお、受付は先着順とし、定員となり次第締め切らせていただきます。

日 時：令和3年11月11日(木) 13:15～17:30

開催方法：webexによるオンライン開催

参加費：無料 定員：150名

開催案内ホームページ(ホーム>行事・講習会等>本部)

<http://www.famic.go.jp/event/index.html#honbu>

※お申込みいただいた方には、後日、参加方法、諸注意等をメールにてご連絡いたします。

【発表課題】(予定)

- 汚泥肥料中のひ素の誘導結合プラズマ質量分析装置による分析法の検討
- 発達神経毒性の欧米での評価状況及び in vitro 発達神経毒性試験の検討状況調査
- 大豆及び大豆油かす中の含リンアミノ酸系農薬の液体クロマトグラフタンデム型質量分析計による同時分析法の確立
- 塩基配列決定法による水産物の種判別対象の拡大
- 梅農産物漬物の元素分析及びストロンチウム安定同位体比分析による原料原産地判別法の開発
- mPing 挿入多型を利用したコシヒカリ判別法の検討

- うなぎ加工品の原料原産地判別法の対象品拡大の検討
- きのこと（ぶなしめじ）中のオルニチン定量法の妥当性確認
- ハトムギ中のアフラトキシン分析法の妥当性評価
- 大豆、ソバ中のトロパンアルカロイド類分析法の妥当性評価
- エキナセア中のピロリジジナルカロイド類一斉分析法の妥当性評価